

議 長 日程第15「各種委員会委員等の諸般報告」を議題といたします。

足柄東部清掃組合執行者及び議員等による視察報告書について、選出議員を代表して飯田一君より報告願います。

6 番 飯 田 それでは、7月6日にですね、茨城県の中央電気工業というところへ焼却灰の最終処分場の見学に行っていましたので、報告させていただきます。

足柄東部清掃組合執行者及び議員等による視察報告書。平成29年7月26日（水曜日）。松田町議会議長 井上栄一殿。足柄東部清掃組合議会議員 鈴木眞徳、飯田一。日時、平成29年7月6日。場所、茨城県鹿嶋市光4番地 中央電気工業（株）。参加者、執行者及び議員、事務局員、計14名。説明員は中央電気工業（株）の松本さんと梶山さんです。タイトルは焼却灰の最終処分場視察。

足柄東部清掃組合では、焼却後に排出される焼却灰等の残渣を中井町岩倉にある最終処分場に埋め立てしている。処分場の延命化を図るため残渣の一部を（株）新草津ウェイストパークと今回、視察に伺った茨城県鹿嶋市にある中央電気工業（株）の2カ所に処理を委託している。この中央電気工業（株）は、昭和9年に合金製造会社として設立され、会社の主な事業は合金鉄事業、焼却灰溶融事業及び機能材料事業の3つの事業である。焼却灰溶融事業では合金鉄事業で培った電気炉の操業技術を活用し、平成7年、民間企業として初めて焼却灰の溶融事業を開始した。現在は焼却灰溶融専用炉2基を稼働しているが、来年4月に向けて新たに1炉を建設している。

組合に関係する焼却灰溶融事業としては、現在、焼却灰溶融専用炉は120トン／日が2炉のため処理能力は240トン／日である。搬入された焼却灰は1,500℃で溶融され、スラグとなり、路盤材や舗装材などの土木資材として使用される。また、溶融炉から排出されたメタルについては金、銀、銅などにリサイクルされており、100%資源化されていると言える。中央電気工業（株）に焼却灰を搬入している団体は61団体で、約7,500トンの数量を受け入れている。そのうち神奈川県は約2,500トンで、当組合は100トンを搬入している。処分場のない自治体、処分場を延命化させなければならない自治体、さらには資源化率のアップにつなげたいなどの理由により利用している団体がほとんどで

ある。また、新たに1炉増設されることにより3,500トン多く搬入することが可能になる。

今回の視察で組合から排出された焼却灰が適切に処理され、資源化されていることが確認できた。今後、組合としても既存処分場のあり方を踏まえ、焼却灰の処理方法について検討していかなければならないと思う。

以上です。なお、詳細な資料は事務局に置いてありますので、御高覧ください。

議 長 報告が終わりました。これより質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

質疑なしとのお声ですが、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。質疑を打ち切ります。

以上で、足柄東部清掃組合執行者及び議員等による視察報告を終わります。

議 長 ここで暫時休憩いたします。2時から再開いたします。(13時50分)